

【E 南島原市-有家エリア Minamishimabara City-Arie Area】



有家エリアの水田から

南島原市-有家(ありえ)エリアでは、“[南面の雲仙岳](#)”が眺望できます。小中学校の校歌には雲仙岳が登場し、地域で古くから親しまれてきたことが分かります。雲仙岳の山岳信仰が盛んであった往時をしのばせるものとして、温泉神社の分社の有家温泉神社が現存しており、雲仙地獄にある本宮からいち早く分社された4分社の一つとされています(↓)。

山並みとしては、高岩山～平成新山～眉山の並びで多くの山々が見えますが、相対的に目立つ山は高岩山です。高岩山には、雲仙岳の化身とされる巨人“みそ五郎”にまつわる伝説が多く、麓にはみそ五郎の名前を冠した味噌蔵もあります。またこの地域では、雲仙岳の湧水や雲仙岳から吹き降ろす乾いた風を利用して、手延べ素麺が名産となっており、町内には多くの素麺工場があり、手延べ体験もできます。

雲仙岳の水の恵みを感じられる場所として、有家川の上流に“鮎帰の滝”があります。少し山側には、雲仙天草国立公園の顔とも呼べる俵石展望所があり、天草方面のパノラマが楽しめます。

江戸時代初期の“島原・天草一揆”の際には、当時の堂崎村・有家村の村民ほぼ全員が一揆に参加したとされています。セミナリヨ跡やキリシタン墓碑など、多くの基督教の史跡が見られます。

雲仙岳の様々な表情を探しながら、有家エリアを旅してみませんか？

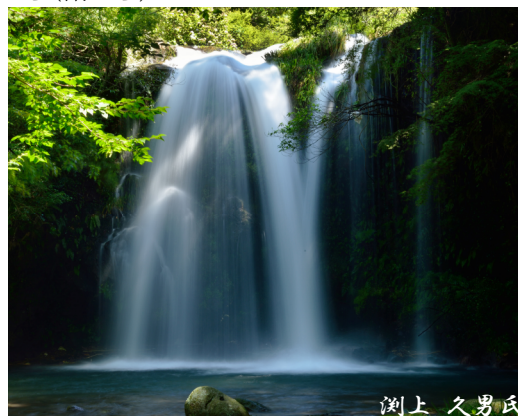
●有家エリアの観光情報はこちら ⇒ 南島原ひまわり観光協会 <http://himawari-kankou.jp/>



有家漁港の防波堤から(南から)



有家温泉神社



鮎帰の滝